

京都市立桂小学校

検索 Katsura-s@edu.city.kyoto.jp

桂小ホームページ毎日更新中

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「**京都はくくみ憲章**」を実践しましょう!



《学校評価 児童アンケートより》

児童の評価項目

回答数 321名 / 323名でした。

右ページのグラフの1～18は児童の評価項目（右に示しています）を表しています。また、要素Aは「そう思う」 Bは「大体そう思う」を示しており、どちらかというとき肯定的にとらえている児童を表しています。逆に、Cは「あまりそう思わない」 Dは「そう思わない」を示しており、どちらかというとき否定的にとらえている児童を表しています。

「そう思う+大体そう思う」という回答でおおむね肯定的な回答が大勢を占めています。その中でも、⑭「友だちやまわりの人を大切にしている」(97.2%) ⑰「学校には楽しみにしている行事がある」(92.9%)の項目は「そう思う」だけでも70%以上の児童が「A」と回答しました。まわりの人を大切にしたい気持ちが高まってきているのはとても嬉しい事です。また楽しい行事を子ども達に聞いてみたところ「運動会」「かがやきフェスティバル」などが主で、中には「おやじの会の行事」をあげている児童もいました。

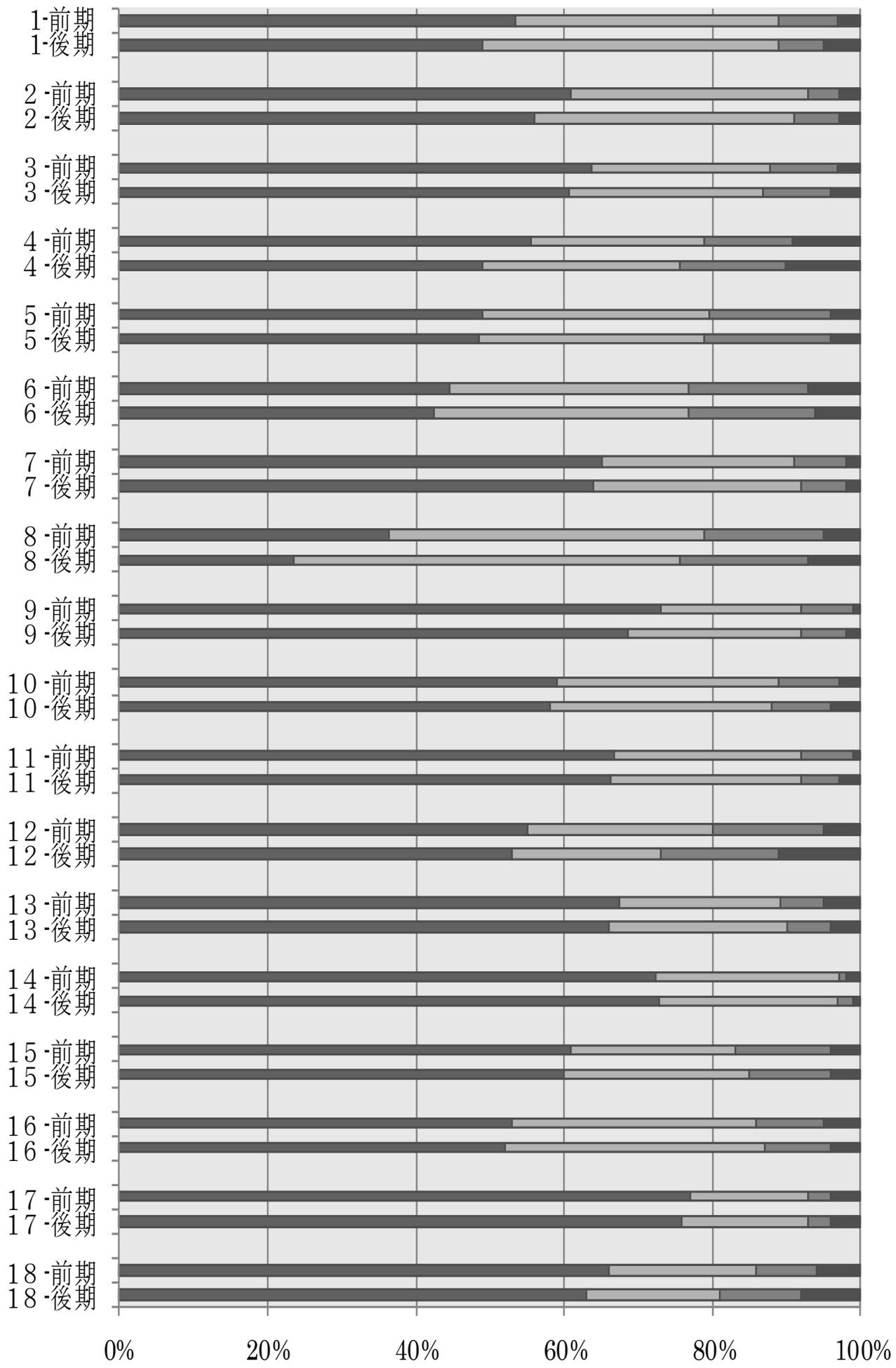
⑬「学校は楽しい」(89.7%) と思ってくれていますが「そう思わない」と回答した児童が(5%) います。その児童の背景をさぐっていきたいと思います。

逆に、8割を切っている項目として、④「家での読書」(77.5%)、⑤⑥「教室での発表が苦手」(76%)、⑧「廊下は歩いている」(77.5%)、⑫「毎日名札を付けている」(79.4%)ができていないようです。発表や廊下での様子、名札の着用につきましては今後、教職員で共通理解して取り組んでいきたいと思ひます。

また、児童の中には⑦「あいさつをしている」(90.3%) と思ひている児童が多いのですが、裏面の保護者アンケートの②-1項目を見ると「あいさつはできていない」と感じている保護者の方が50%おられます。このことは保護者アンケートのご意見の中にもありました。前期にも「あいさつ」について取り組んできましたがまだまだ努力が必要であるという結果となってしまいました。今後も学校・地域・家庭が一体となって「あいさつ」を大事にする心を育んでいきたいと思ひます。

1	授業(じゅぎょう)は楽(たの)しい。
2	授業(じゅぎょう)はよくわかる。
3	毎日(まいにち)、宿題(しゅくだい)などの家庭学習(かていがくしゅう)をしている。3年生以上は計画を立てて家庭学習をしている。
4	家(いえ)で読書(どくしょ)をしている。
5	発表(はっぴょう)しやすいクラスである。
6	進(すす)んで発表(はっぴょう)しようとしている。
7	あいさつをしている。
8	ろうかは歩(ある)いている。
9	チャイムを守(まも)っている。
10	くつやスリッパをそろえてぬいでいる。
11	使(つか)ったものをきちんと片(かた)づけている。
12	毎日(まいにち)名札(なふだ)をつけている。
13	学校(がっこう)は楽(たの)しい。
14	友(とも)だちやまわりの人(ひと)を大切(たいせい)にしている。
15	外遊(そとあそ)びなどすすんで体(からだ)を動(うご)かしている。
16	学校(がっこう)の先生(せんせい)は話(はな)ししやすい。
17	学校(がっこう)には楽(たの)しみにしている行事(ぎょうじ)がある。
18	地域(ちいき)には楽(たの)しみにしている行事(ぎょうじ)がある。





- A
- B
- C
- D

《学校評価 保護者アンケートより》

① 確かな学力

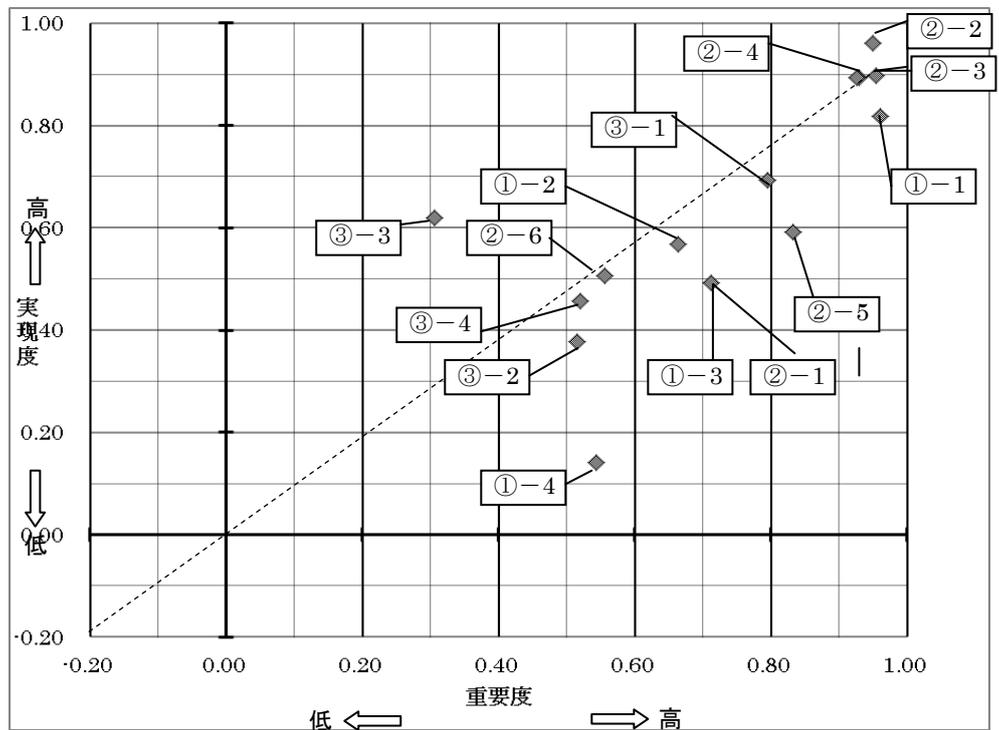
- 1: 子どもが授業の中で満足感をもてること
- 2: 子どもに基礎的な学力が身についていること
- 3: 子どもの家庭学習が習慣化していること
- 4: 子どもに読書の習慣が身についていること

② 豊かな心・健やかな体

- 1: 子どもがあいさつをすること
- 2: 子どもが学校のきまりや約束を守って生活すること
- 3: 子どもが楽しく学校に通っていること
- 4: 子どもが他人を思いやり、親切にすること
- 5: 子どもが運動をするなど健康な体をつくること
- 6: 学校が、一人一人を大切にされた教育活動を行うこと

③ 学校・家庭・地域の連携

- 1: 学校だより・学級通信・学校ホームページなどで、学校の様子が保護者に伝わること
- 2: 保護者が教職員に気軽に質問・相談しやすいこと
- 3: 保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること
- 4: 子どもが地域の行事に参加すること



回答数320名/323名でした。保護者の皆様のご協力に大変感謝しております。このグラフは、肯定的な評価をプラスポイントとし、否定的な評価をマイナスポイントとして平均化しています。右ほど大勢の保護者が「重要」と考え、上ほど大勢の保護者が「実現されている」と評価していただいているということになりますし、原点(0, 0)から右上がりの対角線に近いほど「思い」と「実情」が一致しているということになります。

項目を前期と比較して見ていきますと、全体を通して②-3「子どもが学校に楽しく通っている」が後期は20ポイント高くなっています。項目別に見ていくと「確かな学力」では①-1(30ポイントアップ)、①-2(15ポイントアップ)の実現度が高くなっており、授業や基礎的な学力が定着してきていると感じておられる保護者の方が増えていることがうかがえます。「豊かな心・健やかな体」では、②-2(35ポイントアップ)、②-4(40ポイントアップ)の実現度・重要度が高くなっており、友達に親切にする気持ちが高まってきていると感じておられるようです。「学校・家庭・地域の連携」では、③-1(10ポイントアップ)が前期に比べホームページ等で子ども達の学校での様子がわかると感じておられる保護者の方が増えました。また、保護者のご意見の中にホームページの作業に手を取られすぎているかご心配されている声をいただきました。無理のない程度に更新して、学校の様子をお伝えしていきます。今後とも、保護者の皆様との連携をより一層深めていきたいと思っております。①-4(10ポイント横ばい)では読書の習慣については重要度が高いが、実現度が低いと評価いただいています。このことは児童の家庭での読書と呼応していると言えます。学校でも「なぜ読書が大切なのか」ということをしっかりと指導していきたいと考えております。今後とも、子ども達を取り巻く家庭・地域・学校のつながりを大切にしていきながら、取組を進めていきたいと思っております。

学校運営協議会よりご意見

【児童アンケートより】

- ・①「授業は楽しい」と感じる気持ちと、⑩「学校には楽しみにしている行事がある」と感じる気持ちが高まってほしいと思う。「学校が楽しい」が高いのはいいことである。
- ・「あいさつ」は児童はしているつもりだが聞こえてこない。登校班で高学年ががんばって「あいさつ」をしているところは全然違う。
- ・どの場面であいさつをしていると感じているのか、くわしく確認していきたい。
- ・「あいさつ」は家庭でできていないと子どももなかなかできないのではないかな。
- ・「あいさつ」の項目だけでアンケートをとってみてもよいのではないかな。
(例) ○地域の人にあいさつをしていますか。 ○家族の人にあいさつをしていますか。 など
- ・地域の方々、特にみまもり隊の方々にはしっかりとあいさつをしてほしい。

【保護者アンケートより】

- ・ホームページはよく更新されており、見た保護者どうしの話題になっていることが多い。
- ・読書の項目のポイントが低いので、学校でも図書室や西京図書館の利用をすすめてほしい。
- ・学力の回答は自分の子どもの様子から回答していると思われるので、学力は向上していると感じている。
- ・保護者は読書に関する認識が少し低いように思われる。もっと本を読んでほしい。
- ・子どもの読書については家庭に読む本が多いかどうかも関係しているように思われる。
- ・読書は大切なので「読んだらおもしろいな」という気持ちを育ててほしい。
- ・アンケートの回収率（99%）が他校にくらべとても高いのにはおどろかせられる。

後期学校評価・保護者アンケート回答

学校で後期保護者アンケートに記入されていたおまなご意見にお答えします。

○「保護者が気軽に相談できる相談担当のような先生がいらっしゃれば相談しやすいと思います。」というご意見をいただきました。どんなことでもまず気軽に担任へご相談してください。また、本校で教育相談担当は養護教諭の平井先生ですので担任同様お気軽にご相談いただけます。平井先生はスクールカウンセラーの菊池先生への担当もしています。

○懇談会について、「参観・懇談会について低学年と高学年の授業参観を同じ日にしてほしい。」また、「懇談会の参加人数が少ないのではないかな。」というご意見をいただきました。懇談会を伴う参観日については、できるだけ多くの方々にご参加いただきたいと考えて2日間に分ける計画をしています。ぜひ多くのご参加をお願いします。今後学校もよりよい懇談会になるように工夫していきたいと思えます。

○「ゼッケンについて毎年作り変えなくてもよい方法があれば」というご意見をいただきました。

学校もよりよい利便性のよいものを考えていきますので、どんな方法がいいのか今後、検討をしていきます。

○「朝の登校班」についてのご意見をいただきました。3月7日（水）の町別集会で集団登校のきまりや集合の時間に遅れたらどうするのか、などについても再確認します。

○「評価について」のご意見をいただきました。かつらだより10月増刊号でもお知らせいたしましたが、評価は「終わりの姿」を見ています。学習の内容の区切りがはっきりしているものはその学習の終了時、継続して伸ばしていく力などは学期の終了時に評価します。詳しくは年度初めの教育課程・評価説明会でお話させていただきます。またご案内させていただきます。

○「特別授業の参観」についておたずねがありました。桂小学校の特別授業と言いますと音楽集会、茶道体験、華道体験、1年生を迎える会、6年生を送る会、かつらタイム等があります。その都度参観していただくことができます。

○「クラスでの子どもどうしのトラブルがあった時の保護者の方へのお伝えが不十分」というご意見をいただきましたが、学校でも共通理解をはかり担任と保護者の連携を密にしながら進めていきます。

○「学校だより」で写真が載っていますが白黒でわかりにくいのが残念だ」というご意見をいただきました。「学校だより」につきましては、できるだけ鮮明な写真を使い印刷にも気をつけていますが増し刷りしますと見づらくなってしまいます。ホームページにも「学校だより」を掲載していますのでカラーでご覧ください。

○「学習で補習などして勉強に力をいれてほしい」というご意見をいただきました。補習は放課後になるので子ども達の予定も個々にちがいが一律に行うのは難しい面がありますが、個別に対応できるようにしたいと思います。

最後に、アンケートに「先生のクラスになってよかったです」「困ったことにもすぐに親身に対応してください」など多くの感謝の言葉もいただいております。今後とも児童ひとりひとりを大切に桂の教育を行っていきます。多くの貴重なご意見ありがとうございました。

P T Aについても多数のご意見をいただいております。今後そのご意見をP T A本部に伝えていきたいと思えます。